

案件

乳幼児健康診査事後指導事業（親子教室）の拡充について

健康寿命推進室 母子保健課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市では、育児上での課題や心配のある子どもとその保護者が、親子での遊びや保護者同士の交流などを通じて、健やかな発育の支援が行えるよう、乳幼児健康診査の結果、発達面での経過観察が必要とされた子どものうち、保育所等に通っていない1歳6か月以降の子どもに対し、乳幼児健康診査事後指導事業の集団支援の取り組みとして「親子教室」を開催していますが、さらなる子どもの成長を支援していくため、親子教室の対象を拡充するものです。

2. 内容

(1) 拡充する対象児

子どもの発達には乳児期後半から1歳頃は大きく変化することや、少しでも遅れがあると保護者が他の子どもと比べて不安になりやすい時期にあることを踏まえ、これまで親子教室の対象としていた1歳6か月児以降の子どもに加え、新たな教室を創設し、運動発達面で経過観察が必要と判断された1歳0か月頃の子どもの対象を拡充します。

乳児後期健康診査（生後9か月～11か月の間に医療機関で受診）受診票より、座位・ハイハイ等の運動発達面について経過観察が必要と判断された子ども（1歳～1歳4か月児）

拡充	概ね1歳頃	1歳6か月～
	<u>新たな教室（とことこグループ）の開催</u>	<u>9グループによる教室を開催</u> 子どもの月齢や発達課題に応じ、9グループの教室開催（詳細は最終ページの「親子教室について」を参照）

(2) 新たな教室（とことこグループ）の内容

保育士3名、心理相談員または保健師1名（食事の講座は管理栄養士）による体制で実施します。すべり台やマット、トンネルなどの遊具や、紙・布などの素材を使った設定保育を実施するとともに、ミニ講座（生活リズム、食事、発達）や保護者同志の交流の時間を設定します。

週に1回（木曜日）親子で全7回の開催。1クールあたり10組を想定し、令和5年度（2023年度）は5クール実施。対象となる方へは、地域担当保健師から連絡し、教室を案内。

(3) その他

事業の実施検討にあたり、新たに対象となる子どもと保護者ニーズを把握するために実施したトライアル開催では、参加を重ねるごとに、子どもの遊び方の広がりや大人への表情の向け方などに変化が見られたこと、より専門的な支援が必要と思われる子どもには子ども発達支援センター通所支援「なのはな」につなげ、適切な支援につながったこと、また、保護者アンケートからも子育てイベントへの参加へのきっかけづくりとなったことや悩みの共有、今まで気づかなかった新たな発見や不安を軽減することができたとの声も寄せられました。

親子教室は、2階・3階に保育室、屋上にプールや砂場を設置していますが、移動方法が階段のみであるため、足が不自由な保護者や妊婦である保護者の移動に関して、バリアフリーの観点から課題がありました。今回、新たに対象となる子どもは未歩行児が多く、より環境整備が必要となることから、保健所の移転に伴って令和6年（2024年）に実施が予定されている保健センターの改修工事の際にエレベーターを設置する予定です。

3. 今後のスケジュール

令和5年（2023年）	4月	本格実施に向けた対象者の抽出
	5月	参加者決定
	6月	とことこグループ（第1期）開始
	以降、	2か月ごとに開催

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
施策目標 14 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち



5. 関係法令・条例等

母子保健法

6. 事業費・財源及びコスト

令和5年度(2023年度)

事業費 9, 233千円 (令和5年度(2023年度)当初予算に計上予定)

<人件費> パートタイム会計年度任用職員(通年3人) 7, 966千円

<事務費> 母子保健事業経費(乳幼児健康診査事後指導事業費) 1, 267千円

■親子教室について

<現在の実施状況>

	月	火	水	木	金
グループ (対象年齢)	きりん (1歳児)	ぞう (2歳児)	ぺんぎん (2歳児)		ばなな① (1歳児)
グループ (対象年齢)	ぶどう (2歳児)	みかん (1歳児)	にこにこ	いちご (2歳児)	ばなな② (1歳児)

週に1回、親子で通室。子どもの発達課題に合わせた保育を行い、保護者に対しては子育てに関する具体的な助言・指導を行う。保育以外にも、保護者学習会や父親参観（日曜日開催）、グループ懇談を実施している。

通室期間により、半年グループと通年グループを設け、子どもの発達状況等からグループ編成や継続の必要性などを判断し、必要な場合には児童発達支援センター等の療育機関へつなぐ。にこにこグループについては、1クール7回のグループを年間6クール実施している

1グループ3人～4人の保育士で運営し、月に1回保健師または心理相談員が従事し、多職種で支援している。

